



沖縄県立
大平特別支援学校

TEL098-877-4941
FAX098-876-4148

学校だより

令和7年10月1日発行 発行責任者 古我知 博樹
学校ホームページ www.ohira-sh.open.ed.jp/

教育目標

- ・健康でたくましく心豊かな人
- ・自分のことは自分で出来る人
- ・目標を持って粘り強くやり抜く人
- ・楽しく働き社会に貢献できる人

自力通学

本校で許可する通学方法として、スクールバスや保護者・事業所送迎の他に、児童生徒の実態に応じて、自力通学（徒歩、自転車、路線バス、モノレール、複数乗継など）があります。全通学方法は保護者の申請により可能と判断された場合に許可する仕組みです。路線バス等の利用は、通学にかかった費用を申請することにより就学奨励費の段階に関わらず、規定に応じて支給される仕組みがあります。本校では、11月4日（火）から11月14日（金）に「後期自力通学サポート」期間を設定しております。

自力通学は、児童生徒が就職を希望する場合、軽度の生徒で高支（高等支援学校）を志願する場合、また、課外活動である部活動に入部する場合などにおける前提条件となります。登下校をはじめ自分の力で行動することを広げていくことは、社会の中で共生していく重要な取り組みのひとつです。もちろん、求められる実態は、安全確認や危険回避ができることから始まります。その実態の上に家庭や学校での指導を通して、行動経路や位置関係の把握ができる、他者への質問や調整（お願い）など一定のコミュニケーションがとれる、公共施設や公共物を適切に利用できる、天候や交通状況の急変など不測の事態に対応できる、など様々な力が複合的に要求されハードルが高いように感じます。しかし、これらの力は一朝一夕に身に付くものでもなく、就業体験活動（インターンシップ）の時に即実行できるものでもありません。雨の日も風の日もカンカン照りの日も継続してこそ能動的に行動していく力が培われ、就職や進学や社会生活の中で生きてきます。その培われた力を前提としながら、毎日の生活の合理性から保護者送迎を行うことは現実問題としてありと考えると考えます。

小・中・高等部いずれにしましても、お子様の実態を踏まえ、自力通学を希望する児童生徒・保護者は、まず担任の先生と相談されてください。

なお、校則で原則禁止ですが、アルバイトや運転免許の取得は就職を目的とする場合、生徒・保護者の申請により、授業をはじめとする学校生活に支障のない範囲で許可しておりますので、希望する生徒・保護者は担任の先生と相談されてください。ただし、免許取得後の通学に係る運転は認めておりません。

展示祭

昨年度の運動会・スポーツ祭に続き、今年度は展示祭が実施されます。

展示祭は、かつての「ていーだのひかり（図画工作科、美術科の発表）」の発展・充実版として、全教科の日頃の学習成果物を掲示・展示等で発表します。

展示祭も駐車場の関係で学部毎の実施となりますので、詳細はスクリレでお知らせいたします。

【期日：小学部（11/18 火曜日）、中学部（11/26 水曜日）、高等部（12/18 木曜日）】

なお、生産物（生産品・製造品）の販売は、愛汗祭（生産物販売実習）で行います。

学校長 古我知 博樹

主な行事予定（10月）

1日（水）（小6）校外学習
2日（木）志願前相談 ～10/8（水）
（高3）大阪府立難波支援学校との交流学习
3日（金）（高）介護等体験
4日（土）PTA 大茶話会 11:00～14:00
6日（月）（抽出者）体重測定週間 ～10日（金）
7日（火）（小1）14:20 下校（中・高）13:30 下校
（小2～6）15:15 下校
8日（水）（小5）校外学習（中2）社会見学 1～4校時
9日（木）（中）授業参観日（2～3校時）
（中3）修学旅行事前検診 5・6校時
10日（金）（小3）校外学習（高）授業参観日 2～3校時
（高）後期就業体験実習事前学習（5校時）
事業所訪問（6校時）
（高）後期実習保護者説明会
福祉サービス利用手続き説明会

14日（火）（高）学校見学（実習受入企業・事業所向け）
9:50～11:40
15日（水）（中1）社会見学 1～4校時 SC 来校
16日（木）※月曜日日課
（小）児童集会②（多目的ホール）2校時
（高）浦商との交流学习 1～4校時
17日（金）第3金曜日「少年を守る日」
（小4）校外学習
20日（月）（高）後期就業体験実習 ～10/31
22日（水）（中3）修学旅行 ～24（金）
28日（火）（中）陽明高との交流学习（2～4校時）
（小）13:25 下校
29日（水）（中）昭和薬科高との交流学习①
30日（木）特別支援学校技能検定
（小6）修学旅行 ～31（金）
（小）介護等体験（琉大）～31日（金）
（小3）学年懇談会

【開校 60 周年記念事業実行委員会より】いよいよ、記念式典・祝賀会まで、約 2 か月となりました！

・当日の式典内で「校歌」を歌う場面があるのですが、今回高等部の生徒たちに動画作成のミッションをお願いしたところ、「情報」の授業などで、iPad を使って Canva というアプリで作成することになりました。校内の全学級、全職員の写真を集め、生徒が編集をしてくれます。校舎内の施設の写真も、高等部の生徒が校内散策をしながら撮影をしてくれました。どんな動画ができるのか、とても楽しみです！

小学部

プール学習・読書月間

9 月からスタートしたプール学習では、小麦色に日に焼けた子どもたちが、水に親しみながら元気いっぱいに取り組んでいます。プールが苦手な子ども、先生と手を繋いでゆっくりと水に触れるなど、安全に気をつけながら一歩ずつ挑戦をしています。「いっぱいプールに入りたいね」と次のプール学習を楽しみにしている様子が見られました。

9 月 16 日から読書月間が始まりました。読書月間を伝えるための校内放送では、小学部からは 2 名の児童がチャレンジしました。アナウンスをする元気な声が、優しく全校に響いていました。学級では、絵本が大好きな子どもたちが自分でページをめくったり、読み聞かせにじっと耳をかたむけてにこっと笑ったりする姿が見られました。読み聞かせを通して、心のぬくもりを感じる温かい時間を過ごしています。



中学部

バナナのデッサン～美術の授業の様子～

長かった夏休みもあっという間に終わり、みんなすぐに学校生活も普段のリズムに戻り体育のプール学習や各教科様々な学習に取り組んでいます。2 学期は行事も盛りだくさんですが、今回は美術の授業で取り組んでいる「はじめてのデッサン～バナナを描こう～」の様子を紹介します。

1 階のわくわくルームの横にある中庭に実った大きなバナナの房を収穫し、わくわくルームに吊して描きました。迫力あるとても大きなバナナの房を、みんな一生懸命見て、画面に力強くカラフルに描いていました。躍動感ある素敵なバナナの作品が並んでいて見る人も気持ち明るくなります。



高等部

進路講話

9 月 12 日(金)に 2 名の卒業生に來校していただいて進路講話がありました。

スーパーに一般就労した A 先輩は、「働く、と、報告・連絡・相談や正しい敬語の使い方がとても大切。日頃の学校生活の中で先生に対する話し方を意識してください」と伝え、仕事で楽しいことは「最初はメモを取って品出しするのが楽しかった。最近は仕事を頼まれるのが嬉しい」と仕事の幅も広がっている様子が垣間見えました。

就労移行制度を利用して訓練に通っている先輩 Bさんは、「進路選択は自分が成長できるチャンス。ここで頑張れば自分がもっと変わるかもしれない」と、マイクを持って堂々と後輩に語る姿が印象的でした。楽しいことは「出来なかったことを出来るようになった達成感があるから PC 講座が楽しい」と前を向いて語る姿に充実した生活を過ごしていることが感じられました。

また、3 月に卒業した身近な先輩ということもあり、「お給料はいくらですか?」「休みの日は何をしています?」と沢山の聞きたいことを質問していました。卒業後の生活を具体的にイメージする良い機会となりました。



寄宿舎

充実の秋へ

朝夕の風に秋の気配を感じる季節になりました。寄宿舎でも 2 学期の生活が落ち着き、子どもたちは日々の活動を充実させながら過ごしています。9 月 2 日には「ルールとマナーの学習会」が行われ、皆が共同生活の中で気持ちよく過ごせるよう、行動や振る舞いなどの基本を振り返りました。9 月 10～11 日には男女別に分かれての「心と体の学習会」が行われました。成長と共に変化する自分の体を大切にしようという内容に、皆が真剣に聞き入っていました。また、10 月 1 日に開催される第 2 回舎友会総会へ向けて「一斉係会」や「部屋会」を開き、それぞれが寄宿舎を良くしていくための要望を提案・集約しました。地震津波避難訓練にも真剣に取り組み、安全への意識をさらに高めています。9 月 22 日に開催しました寄宿舎保護者会へは、お忙しい中たくさんの保護者の皆さまにご来舎頂きました。日頃より温かなご理解とご協力を頂いている保護者の皆さまに、心より感謝申し上げます。今後も子どもたちが共に学び合い、思い出に残る寄宿舎生活を送れますよう努めて参りますので、引き続き応援の程よろしくお願い申し上げます。

